

競 技 注 意 事 項

1 規則について

- (1) 本大会は2026年度日本陸上競技連盟規則及び「競技会における公告及び展示物に関する規則」、本大会申し合わせ事項によって行う。

2 練習場及び練習について

- (1) 事故防止のため、決められた場所以外での練習やアップを禁止する。(ピロティー、通路、駐車場など)
(2) 練習は、バックストレート(時間制限あり)及び雨天練習場を使用する。補助競技場での練習はできない。
(3) 投てき種目の練習は、投てき場で行う。危険を伴うので、監督の付き添いのもと細心の注意を払うこと。

※投てき場は、投てき練習と円盤投の競技のみ使用する。

※補助競技場では県中学ジュニア駅伝大会が開催されている。

3 競技者の招集(コール)方法について

- (1) 招集所は全種目第4ゲート裏に設置し、シューズチェック、腰ナンバー配布後係員の指示に従い現地へ移動する。それぞれの種目のスタート場所や競技場所での最終の招集を行う。
(2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記要領で行う。

競 技 種 目		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技		30分前	15分前
フィールド 競技	棒高跳	100分前	90分前
	走幅跳・走高跳・砲丸投・円盤投	60分前	40分前

- (3) 招集完了時刻までに第4ゲート裏に設置された招集所で、胸・背・腰ナンバー・シューズチェック・衣類等・競技場内への持ち込み物品などの確認を受ける。
(4) 『欠場届』『訂正届』『リレーオーダー用紙』『多種目同時出場届』はTIC(中央ゲート入り口付近)に提出する。
(5) 招集時刻に遅れた場合、当該種目を欠場したものとして処理する。
(6) リレーオーダー用紙は各ラウンドの第一組目の招集完了時刻60分前(競技開始時刻75分前)までに提出。用紙はTICに準備してあるもの、またはプログラム添付のものを使用する。リレーの招集は、第4ゲート裏で招集を受け、それぞれのスタート場所に移動する。

4 アスリートビブスについて

- (1) すべての競技者は、ユニフォームの胸と背に番号が確実に見えるよう、配布された大きさのままつける。
但し、走幅跳・走高跳・棒高跳の競技者は、胸、背部いずれか一方でよい。

5 組合せ・走路・試技等について

- (1) トラック競技は全て写真判定装置を使用する。
(2) トラック競技決勝のレーン順は、本部より抽選で決定する。
(3) レーンを使用する場合、1～9レーンを使用する。
(4) フィニッシュ後は、競技者同士の安全のために、自分の割り当てられたレーン(曲走路)を走る。フィニッシュ地点に倒れ込まない、立ち止まらない。
(5) 100mはタイムレース予選を行い、決勝は予選の上位8名で行う。また、100mは予選9位～16位によるトライアルレース(B決勝)を実施する。決勝進出者の決定は1000分の1秒まで比較し選出する。それでも決定できない場合は、決勝を9名で行う。同タイムが3名以上の場合は、抽選とし9名で決勝を行う。
(6) ハードル・200m・リレーは、タイムレース決勝とし第1組に好記録を持っている選手及びチームを入れる。

- (7) 砲丸投は、本競技場で行う。円盤投は、投てき場で行う。
- (8) 走幅跳においては計測ラインを設け、それを越えたと思われる記録のみを計測することもある。
- (9) スタートはイングリッシュコマンドで行い、不正スタートについては、1 回目の競技者から失格とする。
- (10) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

種 目	練 習	1	2	3	4	5	6	備 考	
男子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	男子1m70 女子1m45	以降は3cmずつ上げる
女子走高跳	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40		
男棒高跳	1m70 2m40 3m00	1m80	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	すべて10cmずつ上げる	
女棒高跳	1m50	1m60	1m70	1m80	1m90	2m00	2m10		

* 走高跳・棒高跳のはじめの高さについては、協議の上、変更することもあり得る。

6 競技場への入退場について

- (1) 選手は招集終了後、スタート場所や競技場所に各自で移動する。

7 抗議について

- (1) 競技中におきた競技者の行為または順位に関する抗議は、規則 1 4 6 条にもとづき、正式結果発表後 30 分以内に、また次のラウンドが行われる種目では正式結果発表後 1 5 分以内に、本人または監督から審判長に対して口頭で申し出る。

8 表彰について

- (1) 各種目の表彰は、第 3 位までとする。正式結果発表後、ただちに正面玄関ロビーに集合する。放送をしても選手が集まらない場合、時間の都合上、表彰を行うこともある。

9 更衣室について

- (1) 更衣は、雨天練習場にある更衣室を使用する。

10 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、投てき物を含めすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールは個人所有のものが使用できる。ポールについては、その競技開始前に現地で跳躍審判員の検査を受け許可されたものが使用できる。
- (2) フィールド競技で、助走路に使用できるマークは、主催者が用意したマーカー 2 個まで置くことができる。

11 競技用シューズについて

- (1) スパイクのピンの数は 1 1 本以内で、長さ 9 mm、走高跳は 1 2 mm を越えてはならない。
また、ピンの先端の直径は 4 mm 以内とする。（第 1 4 3 条②③④⑤⑥）
- (2) 靴底の厚さは、T R 5 および競技用靴規定を適用する。靴底の厚さは、T R 5 . 2 のとおりとする。（ただし、サークルから行われる投てき種目の砲丸投は任意とし 2 0 mm 規定から除外）

12 その他

- (1) トラック・フィールド内には、その種目の出場者・役員以外は、監督といえども立ち入らないこと。
- (2) 競技者は、競技中無断で競技場所を離れてはならない。
- (3) 1 階スタンド下（ピロティー）や本部が定める立入禁止区域には絶対に立ち入らないこと。